

インクルージョン

インクルージョン。SDGs(持続可能な開発目標)に“ダイバーシティ(多様性)”や“レジリエンス(回復力・しなやかさ)”とともによく出てくる言葉です。“インクルージョン”は「包括」「包摂」などと訳されますが、でもなんだかピンときません。

30年ぐらい前のことでしょうか。当時、私は肢体不自由校に勤めていました。ある時、ある有名な公園に校外学習に行く計画を立てた時のことです。公園の係の人に「車いすの生徒たちなので、公園の入り口にリフト付きバスを停めたいのですが」とお願いしたところ、回答は「ダメです」とのこと。理由を尋ねると、「幼稚園の通園バスですら停めさせていません。私たちは健常者も障害者も平等に扱っています。」ときっぱり。…何か腑に落ちません。この論理、よく出くわすのですが、実は何を平等にしなければならないのかをはき違えているのです。この場合、平等であるはずのことは公園を利用すること。バスを停める停めないが平等の基準ではありません。誰もが公園を利用するために、公園へ行く手段は違っていいはず。

5/20、本校で体育祭が行われ、6/3には八丈分教室で体育祭が実施されます。本校体育祭では1年の普通科と職能開発科の生徒が、一緒に競技をしました。八丈分教室では、昨年、八丈高校の生徒と分教室の生徒が、こちらも一緒に競技をしました。私は、どちらも単に一緒にやるのではなく、一緒に競技をするためにいろいろな配慮が考えられ、折り合いがつけられていたことが、とても良かったと感じています。この配慮と折り合いにより、みんなが参加できることを“インクルージョン”と呼びます。何も配慮がないまま、折り合いをつけぬまま一緒にいることは“インクルージョン”ではありません。本校や八丈高校・八丈分教室の体育祭は、まさにインクルージョンを学ぶよい機会だったと思います。逆に以前、私が出会った公園の職員の方の対応は、インクルージョンではありません。

「ダイバーシティ&インクルージョン」は、今、企業経営においても重視されてきています。本校でもインクルージョンをしっかりと意識し、教育に活かしていきます。



三軒茶屋校舎で初めての体育祭

5月トピック

体育祭

5月20日(土)三軒茶屋校舎で初めての体育祭を開催しました。時折、小雨の降る中での発表となりましたが、各学年、最後まで一生懸命、競技に臨み、練習の成果を発揮することができました。御参観いただきまして、ありがとうございました。



スローガンは「絆を深め 楽しく走れ 燃えろ シン 体育祭」でした！

プログラムやスローガン作成、準備体操、歌などの係活動に全員で取り組みました。



3年生の代表が選手宣誓を行いました。

